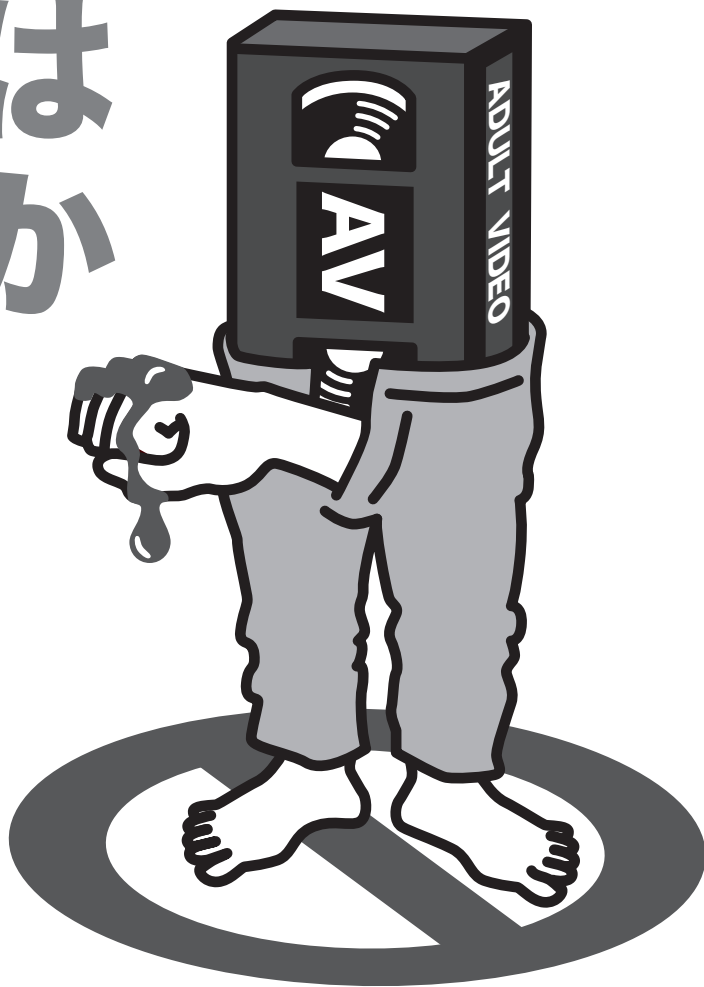


性暴力を許さない女の会 11 月公開講座●ポルノ・買春問題研究会 10 周年記念イベント

# ポルノ規制は なぜ必要か



## 講師・パネラー紹介

森田成也 もりた・せいや

駒澤大学経済学部非常勤講師。ポルノ・買春問題研究会（APP）の創立メンバー。論文に、「戦時の性暴力、平時の性暴力」（『唯物論研究年誌』第4号、1999年）、訳書にキャサリン・マッキノン／アンドレア・ドウォーキン著『ポルノグラフィと性差別』（青木書店、2002年、共訳）など。

中里見博 なかさとも・ひろし

福島大学行政政策学類教員。専攻は憲法（平等論、平和論）、法とジェンダー。ポルノ・買春問題研究会（APP）の創立メンバー。著書に、『ポルノグラフィと性暴力——新たな法規制を求めて』（明石書店、2007年）、訳書に、キャサリン・マッキノン／アンドレア・ドウォーキン著『ポルノグラフィと性差別』（青木書店、2002年、共訳）など。

金尻カズナ かなじり・かずな

ポルノ買春問題研究会（APP）のスタッフ。2003年より、ポルノ被害の深刻さを社会に訴えるために社会活動を始める。2004年にポルノ買春問題研究会に参加。現在はセクシュアリティをめぐるさまざまな問題について取り組む。

吉田容子 よしだ・ようこ

弁護士（京都弁護士会ならびに日本弁護士連合会の両性の平等に関する委員会委員）、人身売買禁止ネットワーク（JNATIP）共同代表、立命館大学法科大学院教員。女性や外国人への法的支援、特に家族法関係や女性に対する暴力の事件を中心に扱い、人身売買禁止に関するNGO活動にも重点を置いている。

栗原洋子 くりはら・ようこ

性暴力を許さない女の会スタッフ。

## APP 研とは

ポルノ・買春問題研究会（APP研）は、女性の人権・性的自由・性的平等を擁護するフェミニズムの見地から、ポルノ・買春問題をはじめ、セクシュアリティをめぐるさまざまな問題を研究することを目的として、複数の研究者および運動家によって1999年12月に結成されました。昨今、「ポルノや売買春は、本人たちが自分の意思でやっているのだからとくに問題はない」という「性的リベラリズム」の考え方がメディアで広く喧伝され支配的な論調になっています。しかし、実際にはポルノや売買春はその当事者に対する被害を含め、多くの被害を生んでいます。APP研はこうした論調に抗して、被害の実態を調べ、それを社会的に広く訴えるとともに、さまざまな団体・個人と協力して被害者支援のネットワークを構築し、この問題に対する法的なアプローチを模索しています。毎年、その成果を『論文・資料集』にまとめて発行しており、ホームページ（<http://www.app-jp.org/>）でもさまざまなアクションを提起しています

## チケットのお求めは

- 参加人数は限られていますので、チケットはお早めにお求め下さい。
- チケット代金を以下の郵便振替口座にお振込下さい。折り返しチケットをお送りいたします。（振替用紙に入金者名と住所を記入するのを忘れなく！）
- 入金先：加入者名 性暴力を許さない女の会  
口座番号 00930-0-103511  
通信欄に「チケット〇枚」と明記下さい。

## 一時保育のお申し込み

- 一時保育ご希望の方は、保護者のお名前とお子さまのお名前・年齢・性別を書いて、当会までFAXにてお申し込み下さい。  
なお、対象年齢は1歳から小学3年生までです。  
FAX 06-6322-2313
- 一時保育料 525円です。チケット代と一緒にご入金ください。
- お申込みの締め切りは11月16日です。

## お問い合わせ

性暴力を許さない女の会  
☎ 06-6322-2313  
（毎週火曜日 夜7～9時のみ）  
大阪市東淀川郵便局私書箱15号 〒533-8691

# PORNO!